

ディサービスセンターごごしま新聞

社会福祉法人 恵賜済生会松山老人保健施設にぎたつ苑通所介護事業所（ごごしま）

〒791-8093 松山市泊町618-4

TEL 089-961-5800 ULR <http://nigitatsu.saiseikai.or.jp>

苦情・相談窓口：通所介護 管理者 西原勇平 居宅介護支援事業所 管理者 井川義伸

1月号 (Vol.27)

令和8年1月1日発行

発行者：施設長 山本昌也

編集：管理者 西原勇平

担当：金高尚見（広報委員会）

小泊通信 ~今年もよろしくお願いいいたします~



皆様！あけましておめでとうございます 2026年は【午年】です！

午年は「明るく活発で行動力があり、情熱的に目標へ突き進む年」とされているそうです。

みなさんの今年の目標は決まりましたか？

【一年の計は元旦にあり】せひ！今年1年を元気で有意義に過ごしましょう！

今年の年男・年女を紹介します！



12月 ごごしまクリスマス会



12月23日(火)、『ごごしまクリスマス会』を開催しました！

クリスマスに因んだ音楽を流し、サンタの格好に扮した職員とともに、クリスマスの雰囲気を楽しまれました。

召し上がりられているケーキは、済生会の【ワークステーションなでしこ】で作られたものです！

見た目も華やかなケーキを前に、みなさんの表情もにんまり

今年も楽しいクリスマス会を開催することができ、職員一同とても嬉しい気持ちになりました♪



寒い冬になり、皆さんは自宅で暖房器具を使っていると思います。すぐに部屋を暖かくしてくれるので、とても便利ですね。でも、暖房器具は間違った使い方をするとヤケドなどのケガや、火事を起こす原因になってしまいます。

今回は石油ストーブ・電気ストーブ・ファンヒーターを使うときに、気をつけて欲しいことをお伝えします。よく読んで、安全に冬を過ごしてください。

1. 近くに燃えやすい物を置かない、暖房器具で洗濯物を乾かさない

- 衣類・カーテン・布団などの近くで使わない。火が燃え移る危険がある。
少なくとも、横・後ろとも15センチ以上はなす。
- 近くに洗濯物を干さない。知らないうちに、器具の上に洗濯物が落ちて、燃え出す場合がある。
- スプレー缶を近くに置かない。熱くなると爆発してケガをする。



2. 火を使う暖房器具は、部屋の換気を定期的に行う

- 定期的にドアや窓を開けて換気をする。締め切った狭い部屋で火を使い続けると、一酸化炭素という有毒ガスが発生する。一酸化炭素は匂いがしないので気づきにくい。頭痛・めまい・吐き気が起こり、さらには意識をなくして、死亡する危険がある。

3. 灯油の給油は、火を消してから行う

- 器具に火がついたままで、給油をしてはいけない。
途中で灯油をこぼすと、引火して燃え広がり、非常に危険。
- 灯油タンクのフタのゆるみ・閉め忘れにも注意を。



4. 外出・就寝時は、火を消す・スイッチを切る

- 外出・就寝時は火を消す・スイッチを切る習慣をつける。
眼の届かないところで、思わぬケガ・事故につながる危険がある。
- 電気で動く暖房器具は、長期間使わない時はコンセントを抜いておき、誤作動でスイッチが入るのを防ぐ。

5. 暖房器具の近くで長い間あたらない、熱くなった部分に触らない

- 長時間あたり続けると、脱水症状・低温やけどの原因になる。
- 燃焼中・消火後すぐは、燃焼部・温風吹き出し口が高温になっていて、うっかり触るとヤケドをする。